

平成 20 年度 日本リハビリテーション医学会論文賞 選考結果のお知らせ

論文賞選考委員会 担当理事 出江 紳一
委員長 長岡 正範
委員 青柳陽一郎, 加賀谷 齊, 河村 顕治
栗原 まな, 長屋 政博, 橋本 圭司
原 行弘, 宮井 一郎, 森田 定雄

日本リハビリテーション医学会には論文賞の表彰制度があり, 論文賞選考内規 (リハ医学 38: 211, 2001) に基づいて, 毎年論文賞選考委員会を発足させ, 選考作業を行っております.

平成 20 年中の対象論文 17 編 (原著 11 編, 短報 6 編) に対し, 各選考委員がテーマの独創性・重要性, 研究・デザイン, データの提示, データの解釈, 論文の完成度の各項目について 3 段階で採点し, 採点結果を集計いたしました. 平成 21 年 2 月 22 日に論文賞選考委員会を開催し, 最優秀論文賞, 優秀論文賞および奨励論文賞の各賞を選考しました. 選考結果は理事会に報告され, 承認を受けた上で, 平成 21 年 6 月 4 日の第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会総会の場で, 理事長から受賞者に賞状ならびに目録が授与されました. 受賞論文を下記にご報告いたします.

多くの優れた研究成果を本誌にご投稿くださいました会員各位に心から御礼申し上げますとともに, 栄えある論文賞の受賞者となられた方々の栄誉を讃えさせていただきます. なお, 受賞者の喜びの声は, リハニュース第 42 号 (7 月 15 日発行) に掲載されますので, 是非ご一読ください.

公平な選考が行われましたことをご報告いたしますとともに, 是非, 多くの投稿を今後も本誌にお寄せいただき, リハビリテーション医学の発展にご協力いただけますよう, お願い申し上げます.

◎最優秀論文賞: 丸石正治 氏

丸石正治, 近藤啓太, 上野弘貴: 高次脳機能障害者の重症度と就労率. Jpn J Rehabil Med 2008 ; 45 : 113-119

◎優秀論文賞: 笛吹 亘 氏

笛吹 亘, 園田 茂, 鈴木 亨, 岡本さやか, 東口 志, 才藤栄一: 脳卒中回復期リハビリテーションへの栄養サポートチーム介入—Functional Independence Measure を用いた効果検証—. Jpn J Rehabil Med 2008 ; 45 : 184-192

◎奨励論文賞: 百崎 良 氏

百崎 良, 菅原英和, 佐々木信幸, 安保雅博, 木村知行: リハビリテーション医学会研修施設における胃瘻カテーテル交換に対する実態調査. Jpn J Rehabil Med 2008 ; 45 : 291-295

◎優秀論文賞次点: 曾川裕一郎 氏

曾川裕一郎, 吉嶺俊俊, 榛沢和彦: 慢性呼吸器疾患患者における深部静脈血栓症の危険性—下肢静脈エコーを用いたスクリーニング検査結果から—. Jpn J Rehabil Med 2008 ; 45 : 40-45

◎奨励論文賞次点: 宮田知恵子 氏

宮田知恵子, 藤原俊之, 補永 薫, 辻 哲也, 正門由久, 長谷公隆, 里字明元: 上肢局所性ジストニアに対する経頭蓋直流電気刺激 (transcranial direct current stimulation : tDCS) と指節関節固定スプリント併用の試み. Jpn J Rehabil Med 2008 ; 45 : 301-307